

日本発！ アール・ブリュットを見て・話して・学ぶ濃厚な3日間！

平成27年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

アール・ブリュット国際フォーラム 2016

会期:2016年2月5日(金)~7日(日)

(※本フォーラム以外のプログラムも含んでいます。)

会場:大津プリンスホテル



1回目の開催となる本フォーラムでは、国内外（日本、タイ、オーストリア、スウェーデン）のアール・ブリュットに関する有識者や実践者による講演及びシンポジウムを開催し、国際的な見地からアール・ブリュットの魅力と意義を考えます。

同時開催する展覧会「images展-アール・ブリュット、芸術の地平を開く-」では、フォーラムでの発表とあわせて、グギング芸術家の家（オーストリア）、日本初展示となる精神科病院で制作された作品を展示するメンタルケア美術館（スウェーデン）など、障害のある方の造形活動の現場から生まれた作品を展

※アール・ブリュット(仏: Art Brut)

「生の芸術」という意味のフランス語。Art は芸術、Brut はワインなどが(生)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。

【問い合わせ】

アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会事務局

(社会福祉法人グロー[GLOW]～生きることが光になる～法人本部企画事業部)

担当：山田・渡邊・藁戸 ☎521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp

<http://www.no-ma.jp>

アール・ブリュット国際フォーラム 2016

概要

日本初、国内外（日本、タイ、オーストリア、スウェーデン）のアール・ブリュットに関する有識者や実践者による講演及びシンポジウムを開催します。

あわせて、展覧会「images 展 - アール・ブリュット、芸術の地平を開く -」を同時開催いたします。

目的

各国のアール・ブリュットに関する有識者・実践者による実践報告や、シンポジウムを通してより、国際的な見地からアール・ブリュットの魅力と意義を考えます。

内容

2月5日（金）15:30-18:00

「アール・ブリュット国際フォーラム 2016 ～世界の現場から（1）」

- 報告：私たちが取り組む専門家と連携した造形活動教育について（スウェーデン）
ヨハン・ソルセル（ヘグウィク特別支援学校副校長）
- パネルディスカッション：アール・ブリュット作品の調査から見える風景
山本和弘（栃木県立美術館シニア・キュレーター）
渡辺亜由美（滋賀県立近代美術館学芸員）
はたよしこ（ボーダレス・アートミュージアム NO-MA アート・ディレクター）
進行：藁戸さゆみ（ボーダレス・アートミュージアム NO-MA 学芸員）

2月6日（土）11:40-18:50

「アール・ブリュット国際フォーラム 2016～世界の現場から（2）」

- パネルディスカッション：障害者の文化芸術活動を世界に発信！
小倉和夫（日本財団パラリンピックサポートセンター理事長）
松下功（東京藝術大学副学長）
岡部大介（外務省大臣官房文化交流・海外広報課長）
進行：岡山慶子（朝日エル会長）
- 報告：マリア・グギング国立神経科病院の芸術家たち（オーストリア）
ヨハン・ハイラッハー（グギング代表、精神科医）
- 講演：アール・ブリュットという言葉が必要な理由～世界の美術館の動向から～
保坂健二郎（東京国立近代美術館主任研究員）
- 報告：アトリエイヌティにおける造形活動の取り組み（スウェーデン）
エヴァ・オルフソン（アトリエイヌティ代表）
- 報告：『セルフ+アート・エキシビション・セラピー』の取り組みから（タイ）
ジュンポン・チナプラパート（芸術療法家）
- 報告：メンタルケア美術館の取り組み（スウェーデン）
マリー・リンネスティグ（メンタルケア美術館館長）

【会 場】 大津プリンスホテル・コンベンションホール淡海

【参加費】 無料（予約不要）

【Pick up!】



グギング芸術家の家（オーストリア）



メンタルケア美術館（スウェーデン）



アトリエイヌティ（スウェーデン）



ヘグウィク特別支援学校（スウェーデン）

- ・元マリア・グギング国立神経科病院の入所者たちが共同生活をしながら制作を続けている「グギング芸術家の家(オーストリア)」
- ・精神科病院で制作された作品を収蔵する「メンタルケア美術館(スウェーデン)」
- ・タイのアートセラピー「セルフ＋アート・エキシビション・セラピー」の取り組みなど、オーストリア、スウェーデン、タイからアール・ブリュットに関する活動に携わる方々をお招きし、先駆的な取り組みを紹介していただきます。

展覧会 「images -アール・ブリュット、芸術の地平を開く-」

日時 2016年2月5日(金)～7日(金)

(5日(金)6日(土)は9:00～21:00 / 7日(日)は9:00～14:00)

会場 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

観覧料 500円※アメニティーフォーラム 20 参加者は無料。障害のある方と付添者1名無料。

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会



【Point】

- ・約 250 点の作品を展示。
- ・18 名の日本人の作者の作品を展示します。
- ・国際フォーラムで報告する グギング芸術家の家など、海外の作品も多数展示します。

【出展者数】

- ・グギング芸術家の家(オーストリア) 4 名
- ・メンタルケア美術館(スウェーデン) 4 名
- ・アトリエイヌティ(スウェーデン) 5 名
- ・「セルフ+アート・エキシビション・セラピー」(タイ) 1 名

・関連イベントも開催！

「梅沢富美男、池田明子夫妻と

アール・ブリュットを見よう！」

2月5日(金) 18:30～19:00 先着 50 名

当日 18:00 から、展覧会受付にて整理券配布

出展作家

<日本> 伊藤喜彦、今村花子、梅木鉄平、岡元俊雄、木村全彦、酒井清、

齋藤勝利、齋藤裕一、白石裕則、鮎万里絵、富山健二、戸舎清志、西山洋亮、秦野良夫、比嘉

野歩治、三井啓吾、三橋信勝、Juri

<オーストリア> グギング芸術家の家の作品

<スウェーデン> メンタルケア美術館の作品、アトリエイヌティの作品

<タイ> セルフ+アート・エキシビション・セラピーの作品

【問い合わせ】

アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会事務局

(社会福祉法人グロー[GLOW]～生きることが光になる～法人本部企画事業部)

担当：山田・渡邊・薫戸 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp

広報用画像

掲載ご希望の方はお手数ですが別紙にご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。

この資料の画像・テキスト等の著作権は、当ミュージアムや個人、協力団体に帰属します。

資料の情報を事前に許可なく、複製等の行為をすることはかたくお断りします。



木村全彦 《伏見稲荷の小路》
2010年 photo 大西暢夫



August WALLA 《FRAU ELLFRIDE FRANEK.!!》
1995年 Art Brut KG

【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）

担当：山田・渡邊・藁戸 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2

TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp